

地域の課題 解決めざす

認知症予防、空き家解消…

肥後銀行植木支店に壁新聞を掲示した
栃原幸佳さん（熊本市北区）



崇城大生 北区と協働で

崇城大（熊本市西区）情報学部2年生16人が、北区と協働で、地域が抱える高齢化や空き家などの課題解決に取り組んでいる。

同大が同区と2019年12月に結んだ包括連携協定に基づき、21年度から始めた。「福祉」や「ICT（情報通信技術）」など四つのテーマごとに班を設け、同区職員を講師に招いて意見交換。地元の老人会や高齢者支援センターでも聞き取りした。来年3月までに、住民が参加するワークショップやイベントの開催を目指す。

福祉班は、高齢者の認知症予防と子どもの居場所の確保を課題に挙げ、高齢者がそろばんや囲碁など頭を使った遊びを子どもに教える教室を提案。一緒に活動する企業や市民団体を募るため、学生が4日、小崎昭也区長と肥後銀行植木支店を訪れ、アイデアを整理した壁新聞を掲示した。

栃原幸佳さん（20）は「世代を超えた住民の交流を生み出したい。気軽に連絡してほしい」と呼び掛けている。同区総務企画課096（272）1110。（岡本遠）